



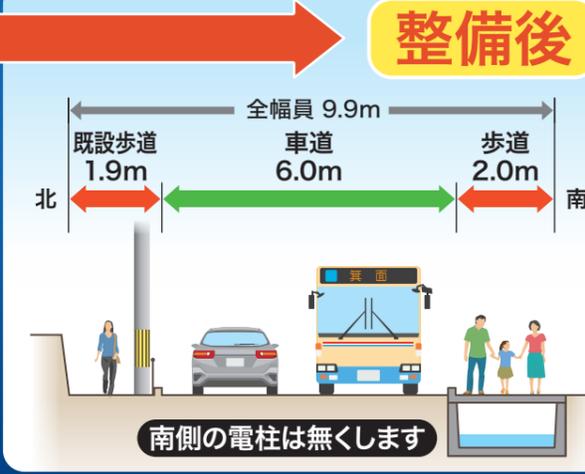
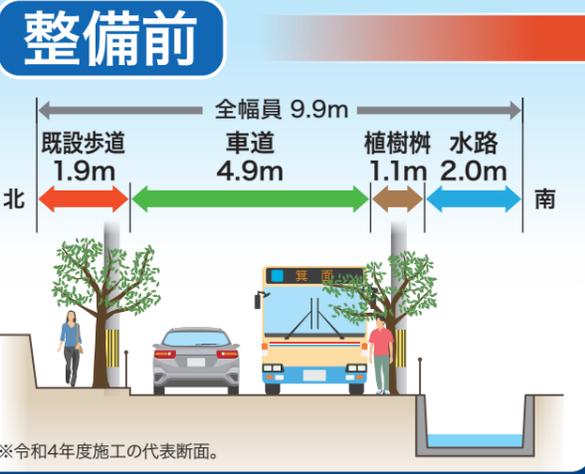
市道箕面今宮線の道路安全対策(歩道整備)事業について

市道箕面今宮線は、バス路線でもあり、箕面市域の重要な東西軸であるにもかかわらず、歩道の未整備区間が多く、歩行者はもとより車両通行も含めて安全性に課題がある道路です。このため市では、同路線の車道を幅6mにして、その両側に幅1.5m以上の歩道を整備したいと考えています。

整備手法の多くは、沿道の建物が建て替わる際に、市が用地買収のご協力を求めるもので、長期間にわたる事業となりますが、沿道住民のみなさんご協力をいただきながら安全な道路整備をめざしていきます。

なお、令和4・5年度は、北小学校南側付近の区間(約230m)において、用地買収を伴わない水路にふたをかけ、歩道を整備します。

北小学校南側付近の区間(約230m)において水路にふたをかけて安全に通行できる歩行空間を整備します



ここが気になる!歩道整備事業Q&A

Q 今ある街路樹はどうなるの?
老木化して倒木や折れ枝の恐れがある街路樹や、大木化して歩行者の通行や車両のすれ違いに支障をきたす街路樹については、交通安全上において伐採・撤去が必要と考えています。しかし、実際の取り扱いについては、沿道住民のみなさんや自治会のご意見を伺いながら、伐採・撤去するかどうかを慎重に判断します。

Q 道路が広くなればスピードを出す車が増えるのでは?
同路線は制限時速30km規制の道路であることから、速度制限対策について警察と連携して検討します。

Q 自動車の騒音を小さくできないかな?
市では、市内各地で騒音レベルを定期的に測定しており、同路線における値は、騒音規制法第17条第1項の規定に基づく環境省令における要請限度(昼間70デシベル、夜間65デシベル)を下回っている状況です。
自動車の騒音は、対策が必要となる要請限度内となっていますが、騒音の低減をめざし、この事業の中で対策を検討します。

Q 路線としての安全性を増すためにバスのルートを変更しては?
市道箕面今宮線を走る路線バス(白鳥線)は、地元自治会などの要望を受けて昭和35年9月から運行が始まり、60年以上経過しています。現在も白鳥線を行うバスは、1日当たり4,000人以上の利用があり、地域の重要な交通手段としての役割を果たしています。
このうち、市道箕面今宮線沿道にあるバス停の乗降者は、1日当たり1,000人を超えており、例えばバス路線を府道箕面池田線経由に変更した場合、バス停まで遠くなるだけでなく坂道を上り下りする必要が生じ、多くの利用者にとって不便になります。

Q ルートを変更しないなら、大型バスを小型バスに変更しては?
阪急バス株式会社からは、以下の理由で市道箕面今宮線を小型バスで運行することは困難であると回答がありました。

- 平日朝のラッシュ時など、利用の多い便では乗客が50人を超えており、小型バスで運行する場合、利用者が全員一度に乗車できない恐れがあること。また、小型バスの運行で、利用者全員が希望の便に乗車できるようにするためには、バスの便数を増やすしかなく、そのための車両購入や運転手の追加採用が必要になること。
- 北大阪急行線延伸に合わせたバス路線再編後においては、市の東部地域と阪急箕面駅を結ぶ直通便を運行する計画となっており、当該区間のみを小型バスにて運行することは支障があること。

事業説明会を実施します

市道箕面今宮線の道路安全対策(歩道整備)事業について、以下の日程で説明会を実施します。申込不要ですので、気軽にご参加ください。

8月31日(水)午後7時~8時
場所 みのお市民活動センター
定員 40人(当日先着順)

9月4日(日)午後2時~3時
場所 箕面文化・交流センター地下1階
定員 40人(当日先着順)